

甘夏よ大志を担え

なんち屋より

甘夏をお届けします。

甘夏は大好きな柑橘のひとつです
選果落ちした大玉果や出荷できない
キズ果を持っていて みかん山の
仕事の合間によく食べます みかん山
で食べるととても美味しいのです
しかし甘夏は“売りにくい”柑橘類
としてよく話題にのびます

毎年のように新しい品種の柑橘
が開発されています 糖度が高く
外皮も剥きやすい 食べやすいもの
に人気があるようです その中で
古くからある甘夏は話題性がない
上に 比較的に酸っぱくて
ごつい外皮だけでなく 内皮も剥く
必要があるので 見劣して映えるも
分かる気がします けれど そんなもん
かなあ という思いもあります

甘夏は空調の交かいた部屋で
食べて 美味しい果物ではありません

➔ 上に

みかん山で食べるのが美味しいのは
西交、100%の成分であるクエン酸の
交力能によるものでしょう そもそも
春から初夏にかかる干ばつ陽気
の中では 甘ったるい柑橘類は 女ごと
ひとつ食べることさえできません

甘夏が売りにくいということは 外で
走り回る子どもや 甘夏の美味しさを
伝えることのできる大人が少なくなった
ということの裏返しでしょうか みかん山
ならその場で放り捨てる食べる
も 土がむき出しの緑地が少なければ
自販機のジュースの方が都合よいかも
しいない そんな時代を これから
押し進めるような農業をしていて
いいのだろうか **たまるかい!**

東京の住宅街で育った 新規
就農の農民として こだわって ある
程度の割合の甘夏栽培を 保持
していきたいと思っています (うえはら
ゆうき)

なんち屋・かんまん部屋・atelier moo

〒797-0113 愛媛県西予市明浜町狩浜
3-1404

電話・FAX: 0894-89-5050

web: <http://doratomy.jp/~nancha/>

e-mail: nancha@sheep.dog.cx



なんち屋